



2025 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 D & I
(コード番号 320A TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役 小林 鉄郎
問 合 せ 先 取締役管理部長 谷口 真市
T E L 03-5577-6257
U R L <https://dandi.co.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 2 月 13 日に公表した 2025 年 6 月期(2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)の通期業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 通期業績予想数値の修正 (2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	870	5	2	1	0.53
今回修正予想(B)	748	△50	△46	△30	△9.93
増減額(B－A)	△122	△55	△49	△32	△10.46
増減率(%)	△14.0	－	－	－	－
(ご参考)前期実績 (2024 年 6 月期)	723	6	12	8	2.99

(注) 当社は、2024 年 10 月 11 日付で普通株式 1 株につき 10 株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益又は 1 株当たり当期純損失を算定しております。

(2) 修正の理由

通期業績予想について、売上高及び費用項目がおおよそまとまったことを受けて、通期業績予想の修正をする判断に至りました。修正の主な要因は以下のように考えられます。

・営業基盤体制の強化の遅延

当初計画していた営業体制の構築が想定よりも遅れたことにより、マッチングプラットフォームサービスにおける新規案件の獲得が伸び悩み、前回発表予想に対して売上高が減少いたしました。

・先行投資に伴う人件費の増加と教育体制の整備遅延

中長期的な成長を見据えた人材採用を積極的に進めた結果、短期的には人件費が増加し、収益を圧迫す

る要因となりました。また、採用した人材の早期戦力化を目指しておりましたが、教育体制の整備が遅れたことにより、期待していた生産性の向上が実現できておりません。

- ・セキュリティ対策強化等によるリソースの偏重

コーポレートサイトをはじめとする各種 WEB サイトにおいて、情報セキュリティ対策の強化施策を実施したほか、パートナー企業のツール仕様変更に伴う突発的な追加開発への対応により、エンジニアおよびマーケティング担当者の工数がこれらの施策に集中する状況となりました。

その結果、顧客企業のリード獲得や求職者の集客など、WEB マーケティング施策に十分なリソースを割くことができない状況が生じました。

これらの複合的な要因により、売上高が前回発表予想より 122 百万円減の 748 百万円の見通しとなり、これに伴い各段階利益においても前回発表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益は、前回発表予想より 55 百万円減の営業利益△50 百万円へ、経常利益は、前回発表予想より 49 百万円減の経常利益△46 百万円へ、当期純利益は、本日公表の「法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、法人税等調整額(益) 16 百万円を計上したことにより、当期純利益△30 百万円と見込んでおり、それぞれ下方修正することといたしました。

2. 今後の見通し

今回の業績予想の修正を厳粛に受け止め、早急に業績回復に向けた対策を講じてまいります。具体的には、以下の取り組みを推進しております。

- ・営業体制の再構築と強化の加速

営業プロセスの見直しと人員配置の最適化を進め、売上回復を目指します。

- ・教育体制の整備による人材の早期戦力化

採用した人材に対する研修プログラムの強化と OJT 体制の整備を通じて、生産性の向上を図ります。

- ・リソース配分の最適化

セキュリティ対策とマーケティング施策のバランスを見直し、業績に直結する施策へのリソース配分を強化します。

- ・コスト管理の徹底と投資対効果の検証

固定費の見直しと ROI（投資対効果）の可視化を進め、利益体質の強化を図ります。

（注）上記の業績予想は、当社が、公表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上